

図1-6-8 性に関する事柄を知るべき時期—“エイズ以外の性感染症とその予防”

(性別、性・年齢別)

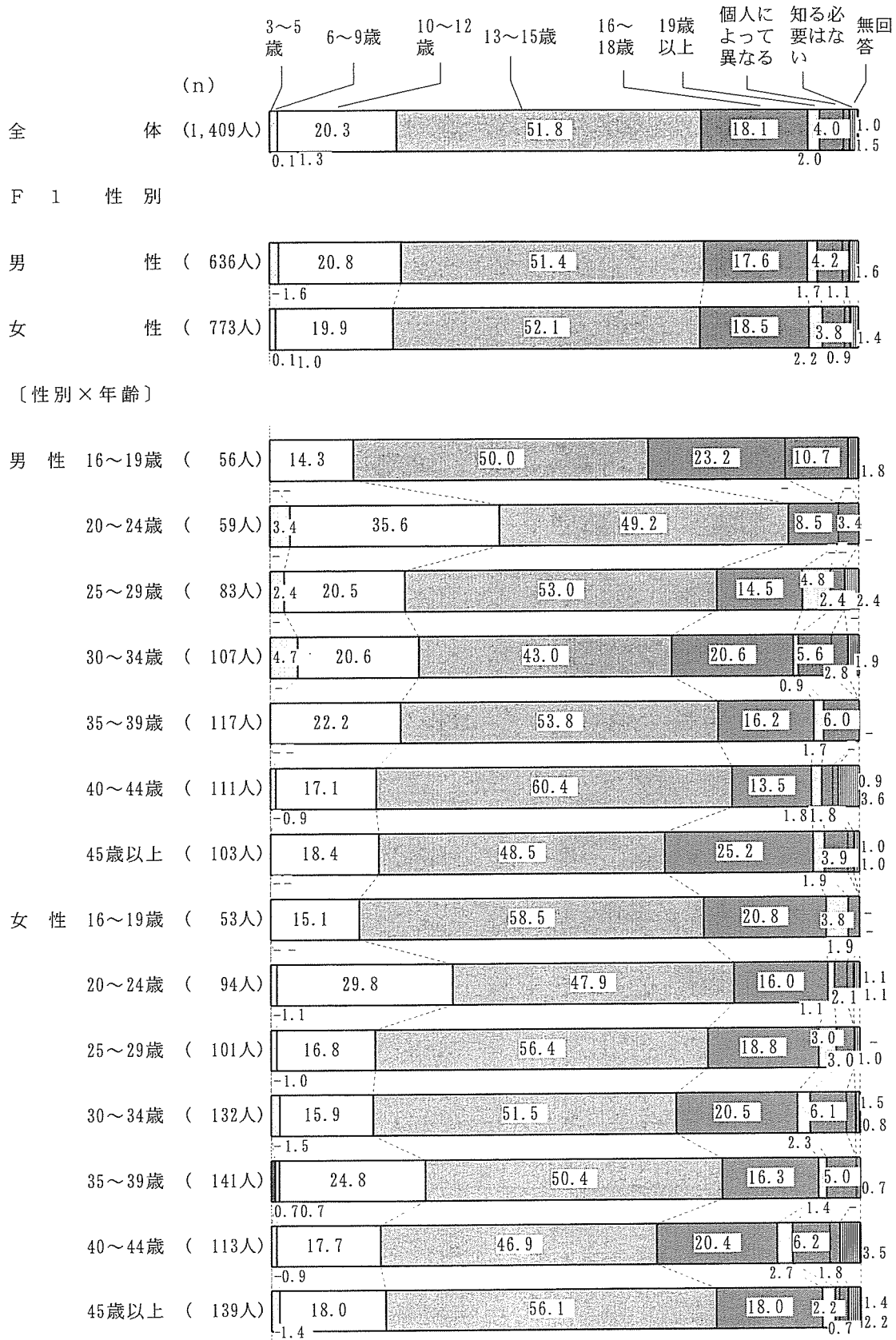
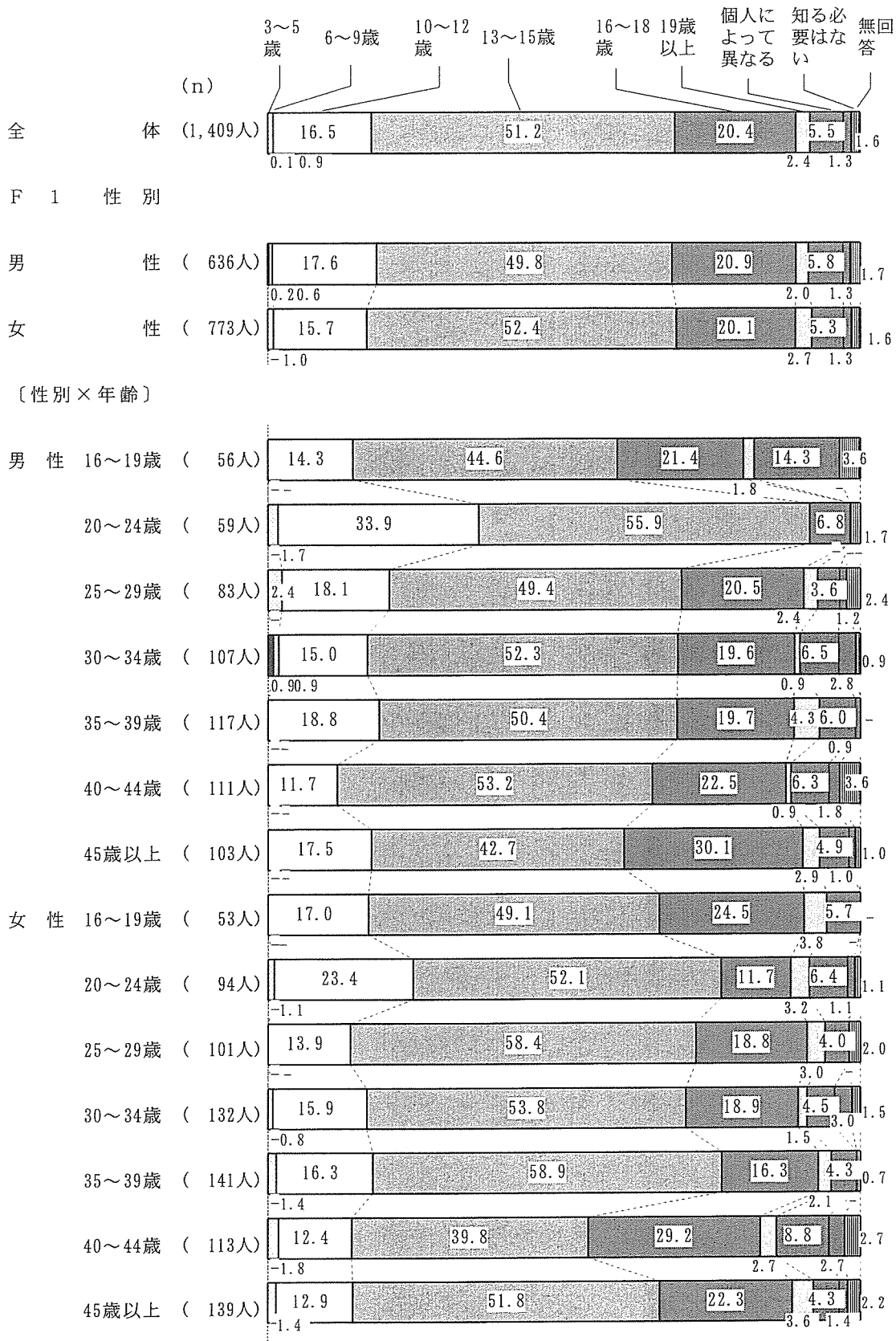


図1-6-9 性に関する事柄を知るべき時期—“コンドームの使い方”

(性別、性・年齢別)



“多様な性のあり方(同性愛、性的指向、性同一性障害等)”について知るべき時期を性別にみても(図1-6-10)、大きな差はみられない。

性・年齢別にみると(図1-6-10)、女性の45歳以上で中学生にあたる「13~15歳」(47.5%)に知るべきだと考える者が、他の性・年齢層より多くなっている。

“性的被害(レイプや性暴力など)の対処法”を知るべき時期についても、性別には大きな差がみられない(図1-6-11)。

また、性・年齢別にみても(図1-6-11)、統計上の大きな差はみられない。

“男女間の平等や助け合い”を知るべき時期を性別にみると(図1-6-12)、性別には大きな差がみられない。

性・年齢別にみると(図1-6-12)、統計上の大きな差はみられないが、該当数が少ない男性の16~19歳で「個人によって異なる」(10.7%)と考える者が他の性・年齢層よりやや多い。

“結婚”について性別にみると(図1-6-13)、「19歳以上」は男性(9.7%)が女性(4.9%)よりやや多くなっている。

性・年齢別にみると(図1-6-13)、該当数は少ないが男性の20~24歳では小学校低学年にあたる「6~9歳」(16.9%)と小学校高学年にあたる「10~12歳」(33.9%)で多く、他の年齢層との統計上の差がみられる。一方、男性の45歳以上では「19歳以上」(12.6%)に知るべきだと考える者がやや多い。

“離婚”を知る時期については、性別による大きな差はみられない(図1-6-14)。

性・年齢別にみると(図1-6-14)、中学生にあたる「13~15歳」で知るべきだとする者が男性の35~39歳(35.0%)で3割台半ば、高校生にあたる「16~18歳」で知るべきとする者が男性の45歳以上(27.2%)で3割弱を占め、他の性・年齢層より多くなっている。一方、女性の40~44歳では「個人によって異なる」(25.7%)とする者が4人に1人を占めている。

“人と人とのコミュニケーション(関わり方)”を知るべき時期を性別にみると(図1-6-15)、未就学の「3~5歳」で知るべきとする者は男性(8.2%)より女性(14.1%)が多いが、他の知るべき年齢区分では男女に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると(図1-6-15)、小学校入学前の「3~5歳」で知るべきとする者は女性の35~39歳(17.0%)で2割に近くなっている。一方、男性の45歳以上では高校生にあたる「16~18歳」(10.7%)でよいとする者が1割いる。

最後に、“性に関する倫理や道徳”を知るべき時期については、性別による大きな差はみられない(図1-6-16)。

性・年齢別にみると(図1-6-16)、どの年齢層でも中学生にあたる「13~15歳」で知るべきだとする者が最も多いが、特に男性の40~44歳(50.5%)では2人に1人を占めている。また、該当数は少ないが、高校生にあたる「16~18歳」と「個人によって異なる」は男性の16~19歳で、小学校低学年の「6~9歳」は男性の20~24歳で、統計的にみてそれぞれ多くなっている。

図1-6-10 性に関する事柄を知るべき時期

— “多様な性のあり方(同性愛、性的指向、性同一性障害等)” (性別、性・年齢別)

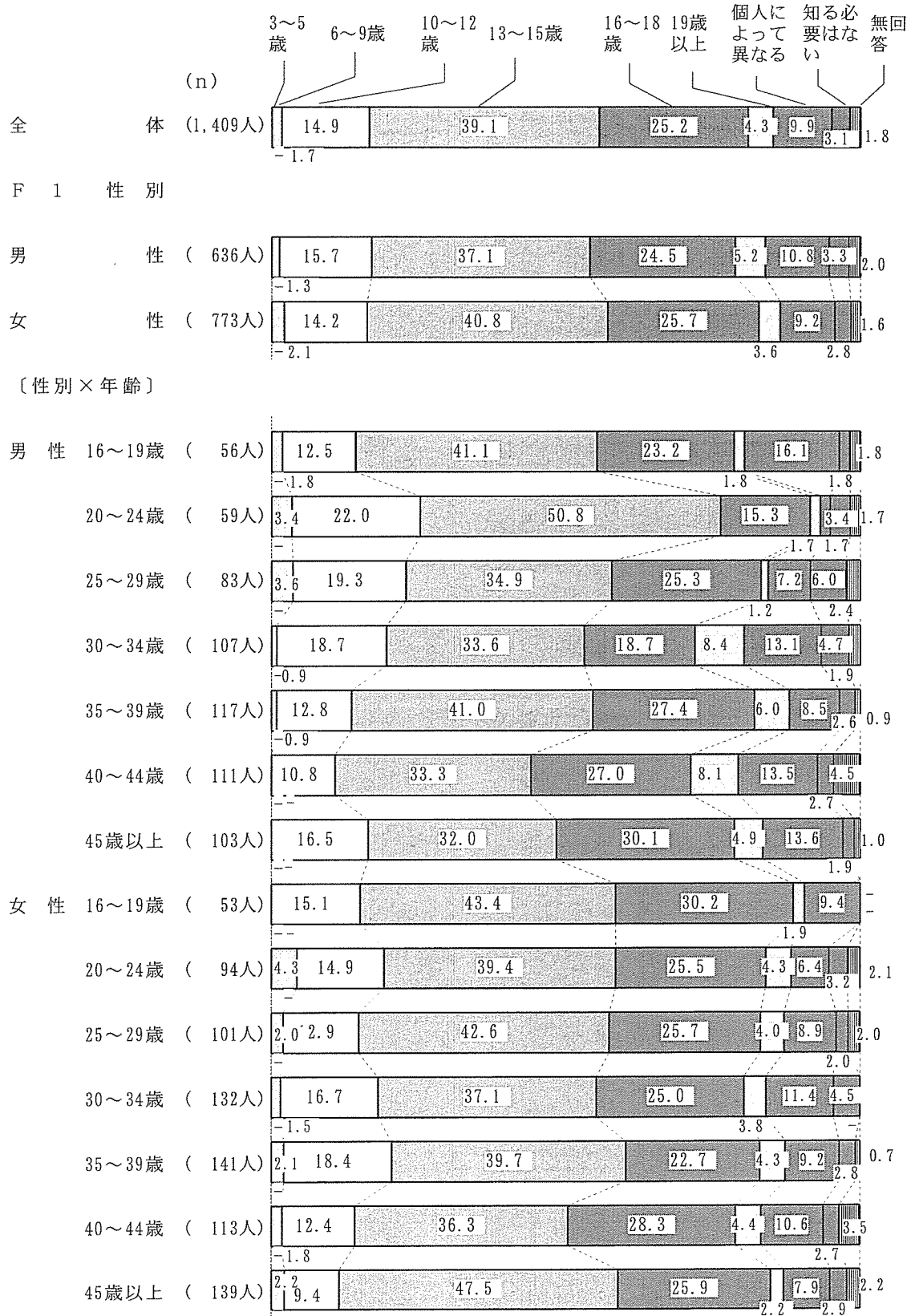


図1-6-11 性に関する事柄を知るべき時期 - “性的被害（レイプや性暴力など）の対処法”

(性別、性・年齢別)

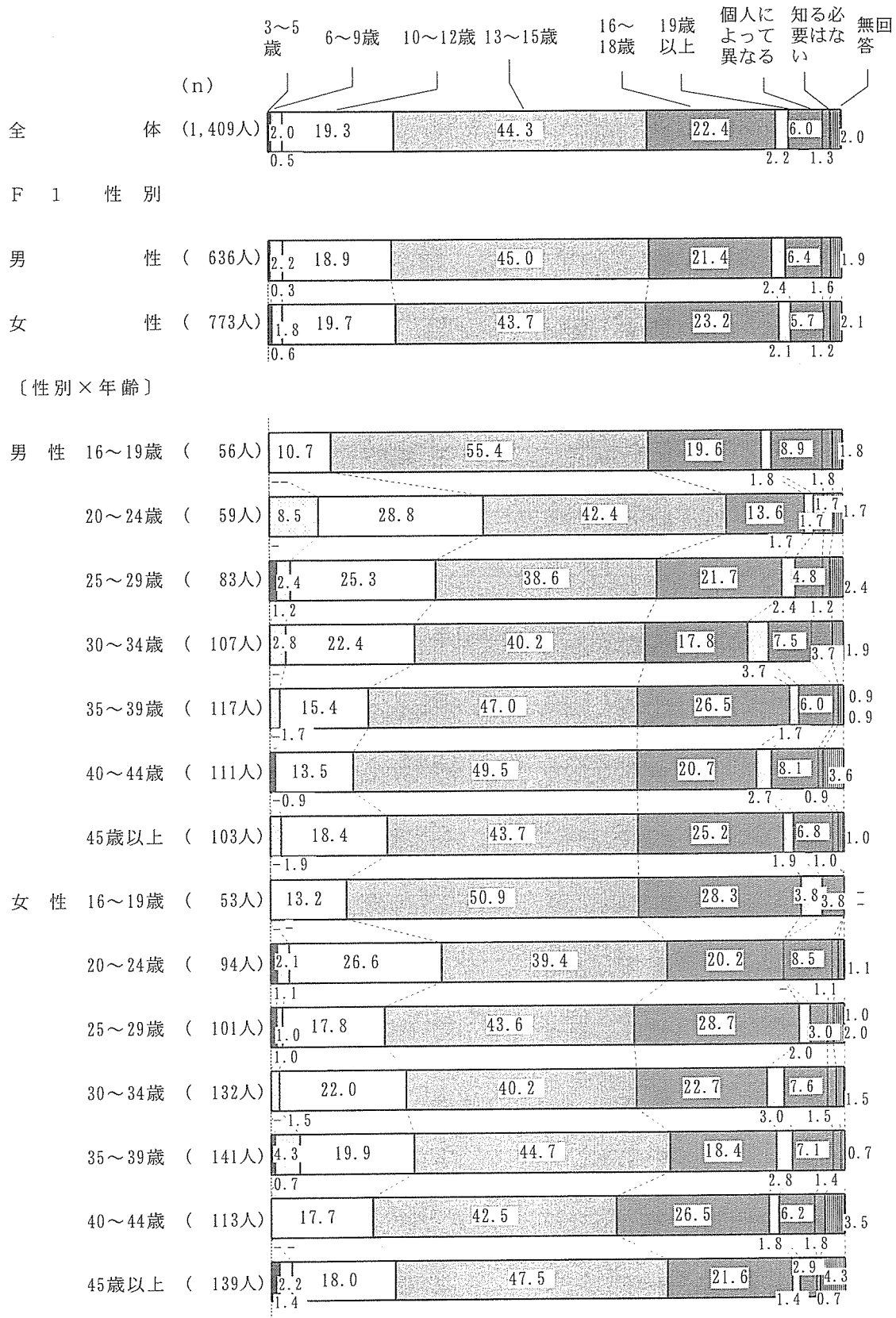


図1-6-12 性に関する事柄を知るべき時期—“男女間の平等や助け合い”

(性別、性・年齢別)

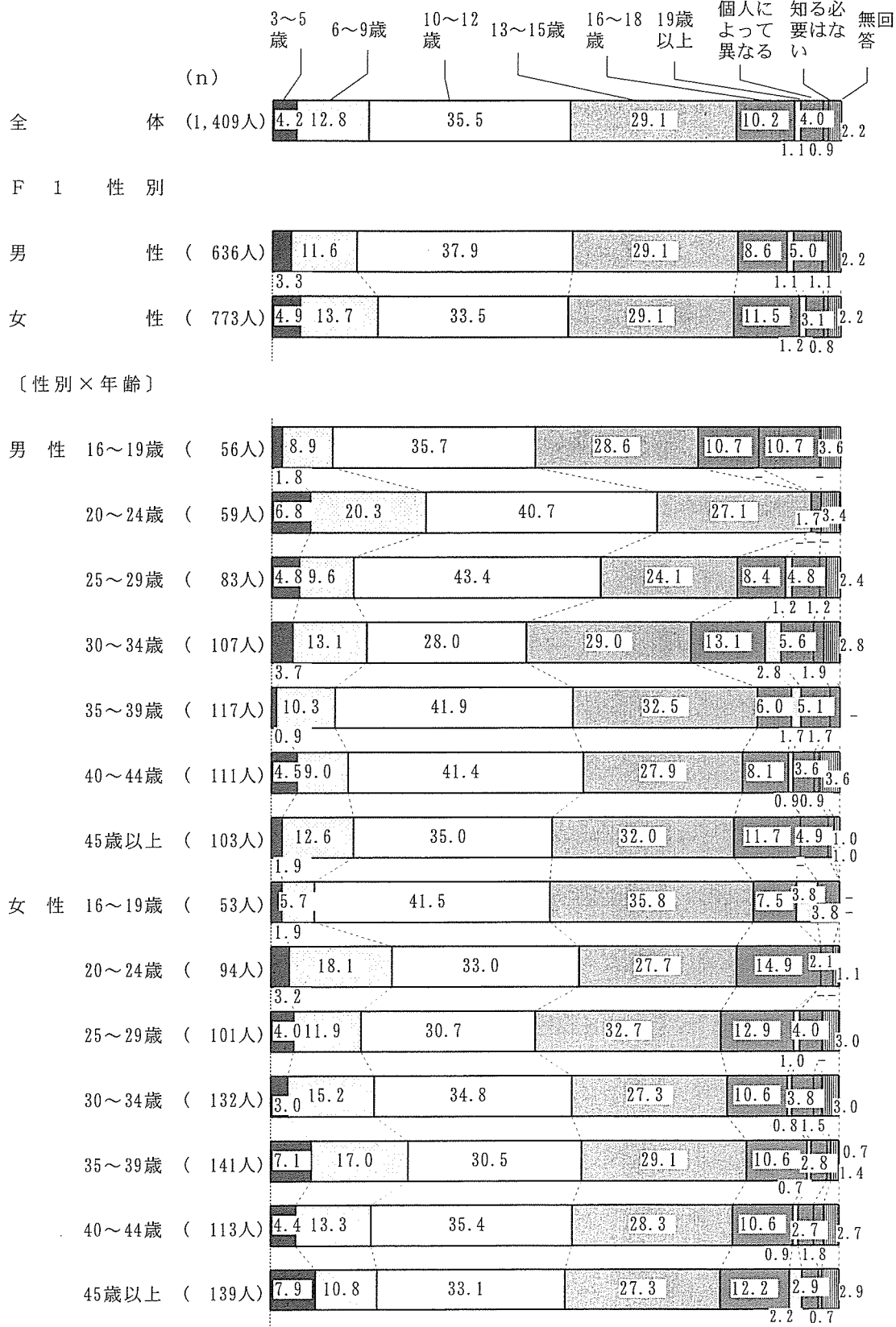


図1-6-13 性に関する事柄を知るべき時期－“結婚”（性別、性・年齢別）

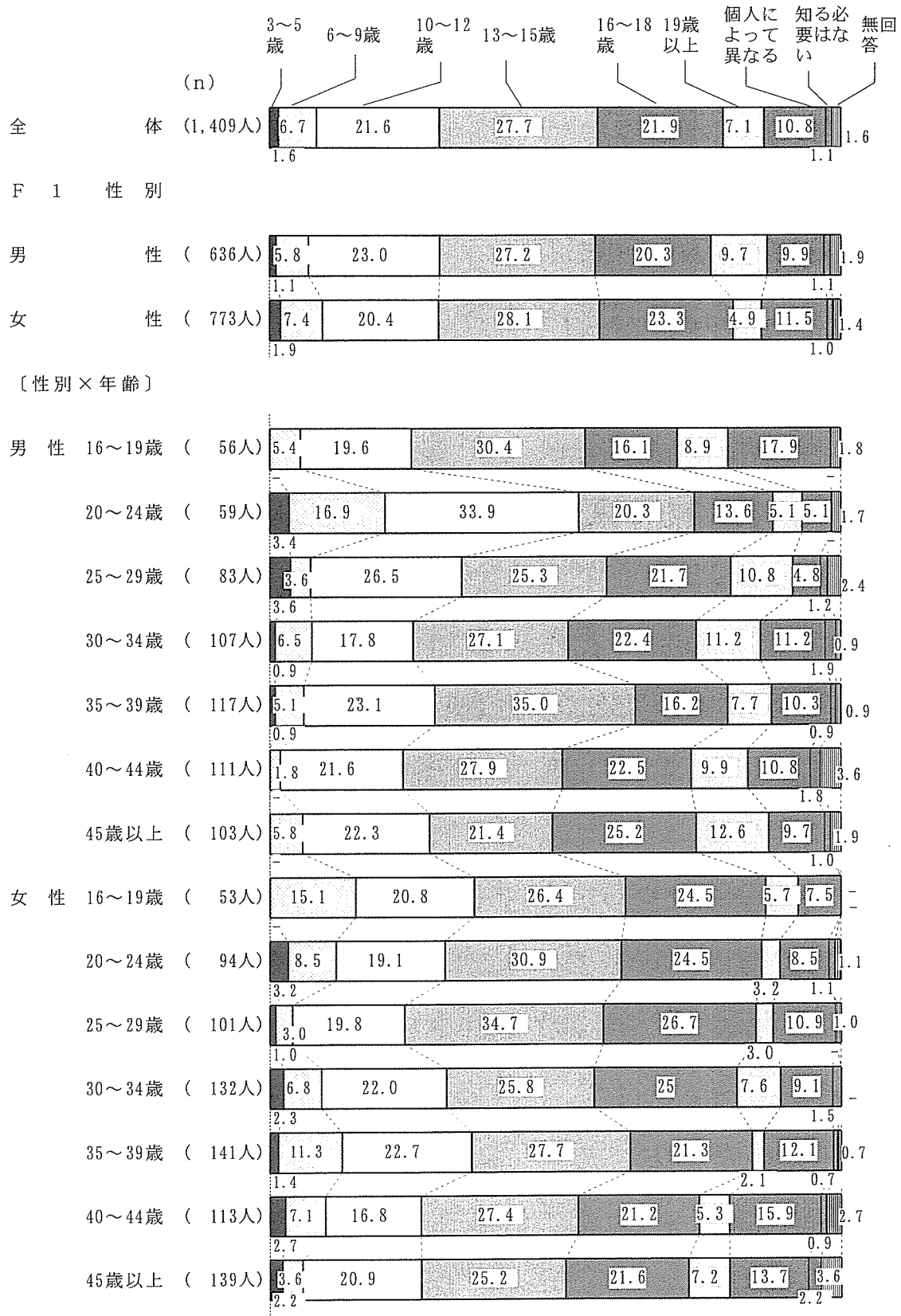


図1-6-14 性に関する事柄を知るべき時期-“離婚”(性別、性・年齢別)

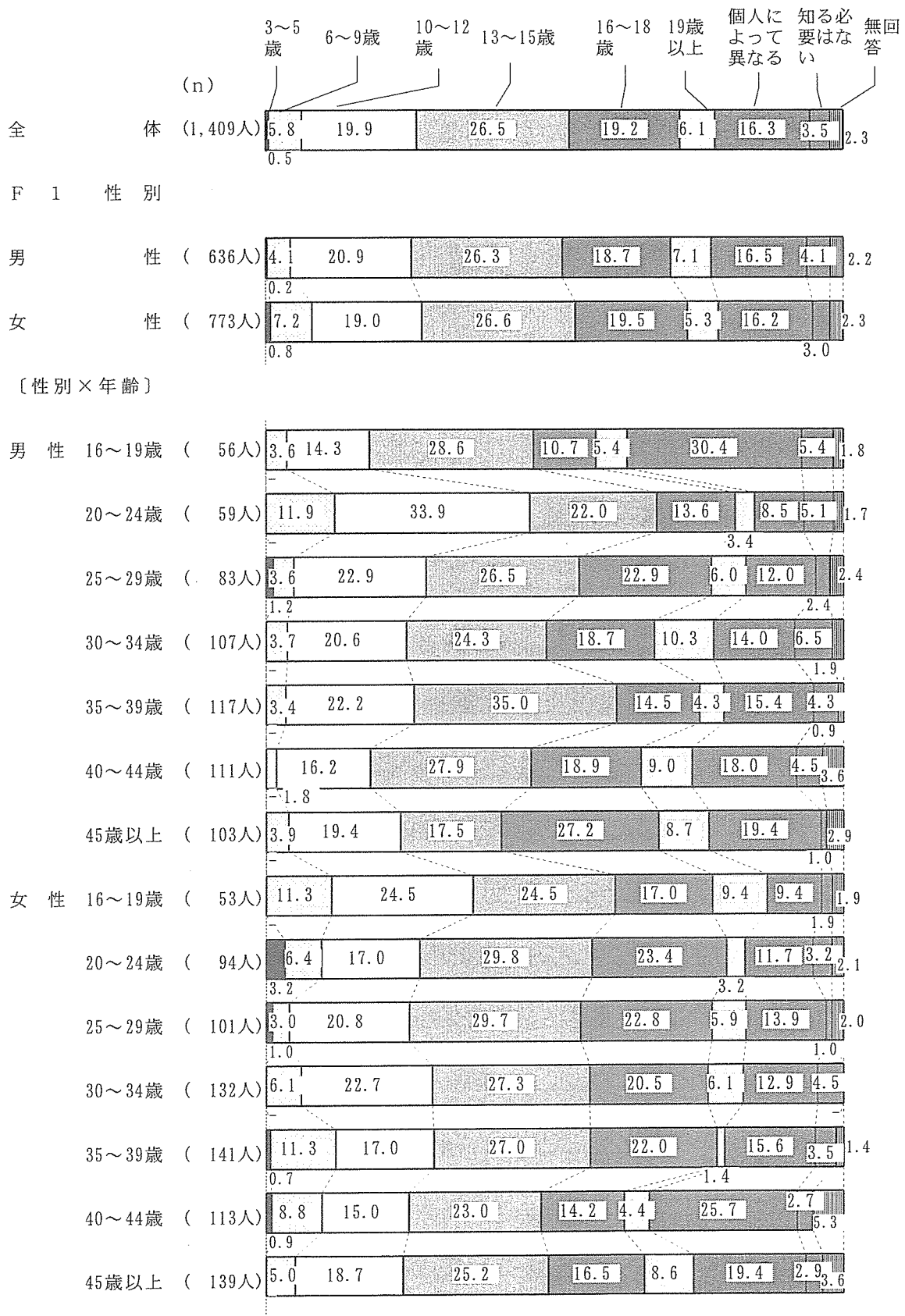


図1-6-15 性に関する事柄を知るべき時期

— “人と人とのコミュニケーション（関わり方）”（性別、性・年齢別）

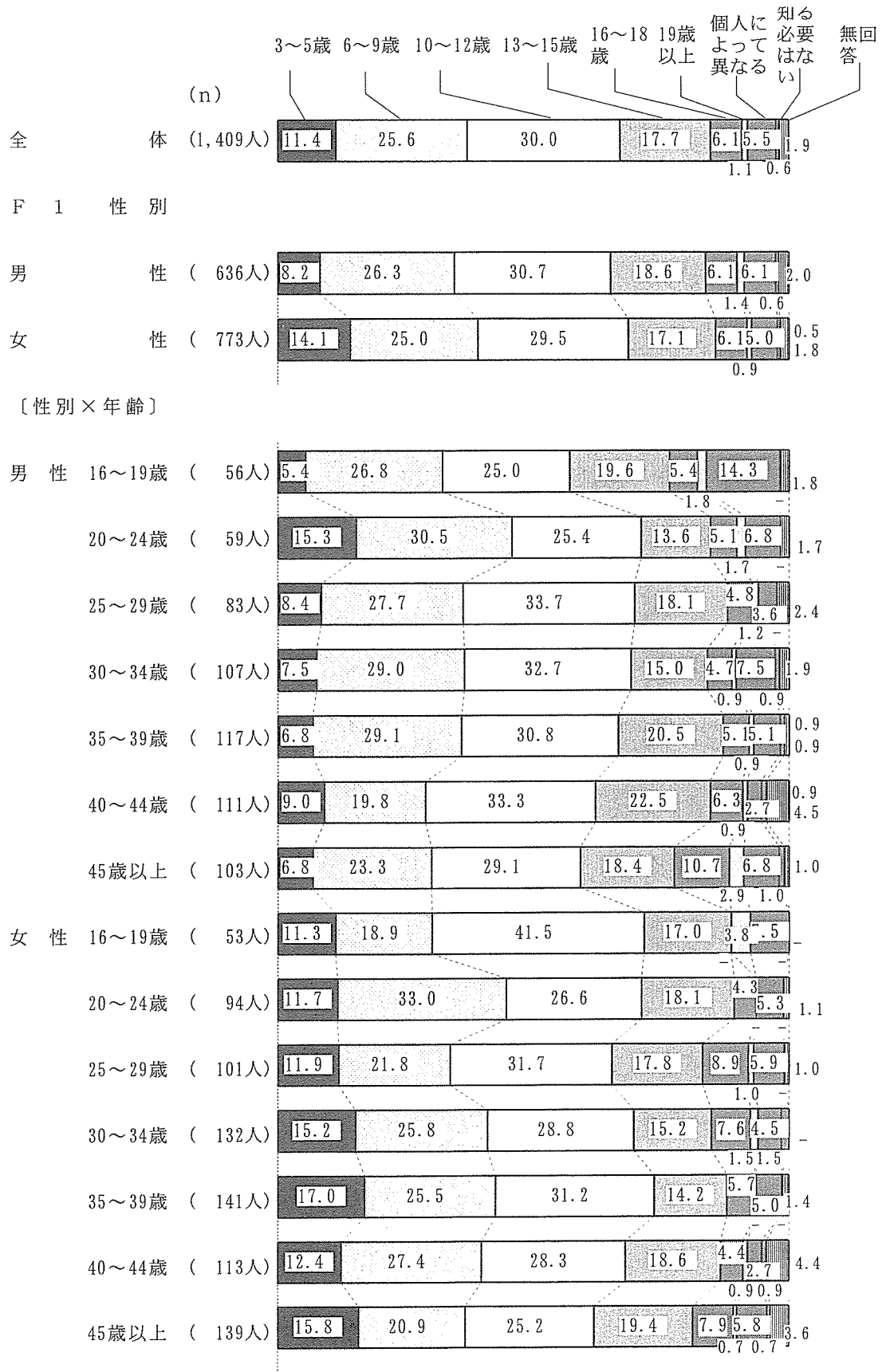
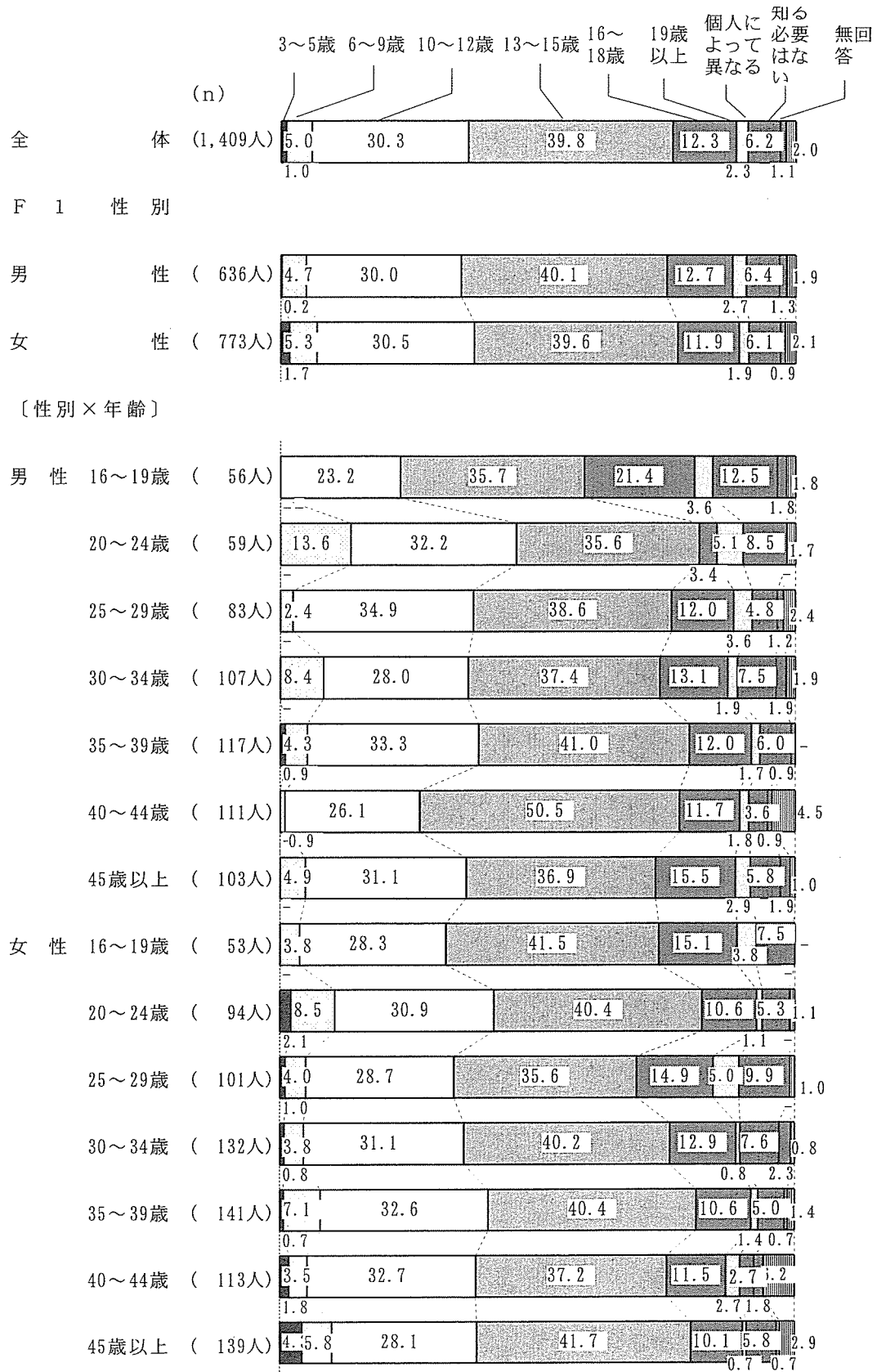


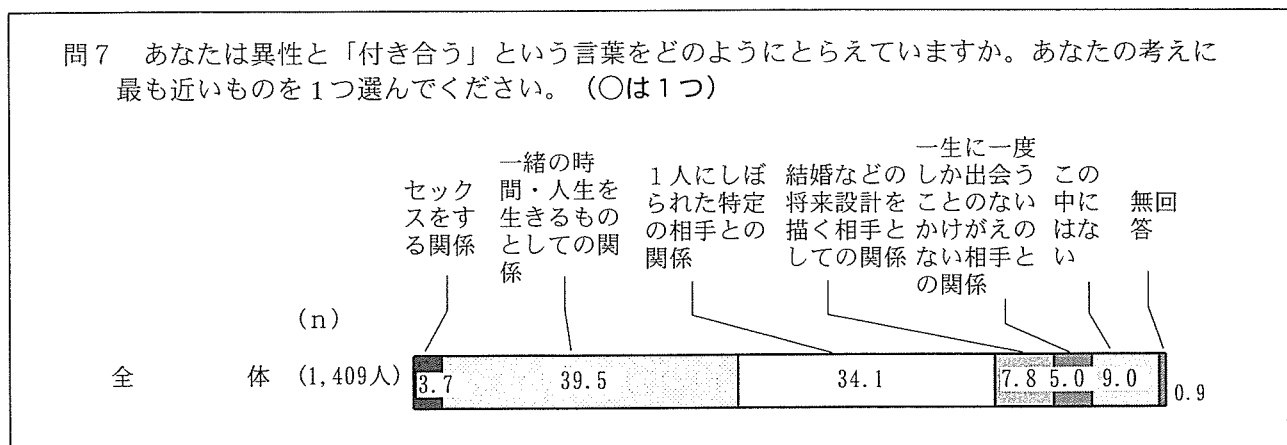
図1-6-16 性に関する事柄を知るべき時期 - “性に関する倫理や道徳”

(性別、性・年齢別)



第2章 男女の関係性についての意識

1 異性と「付き合う」ということ

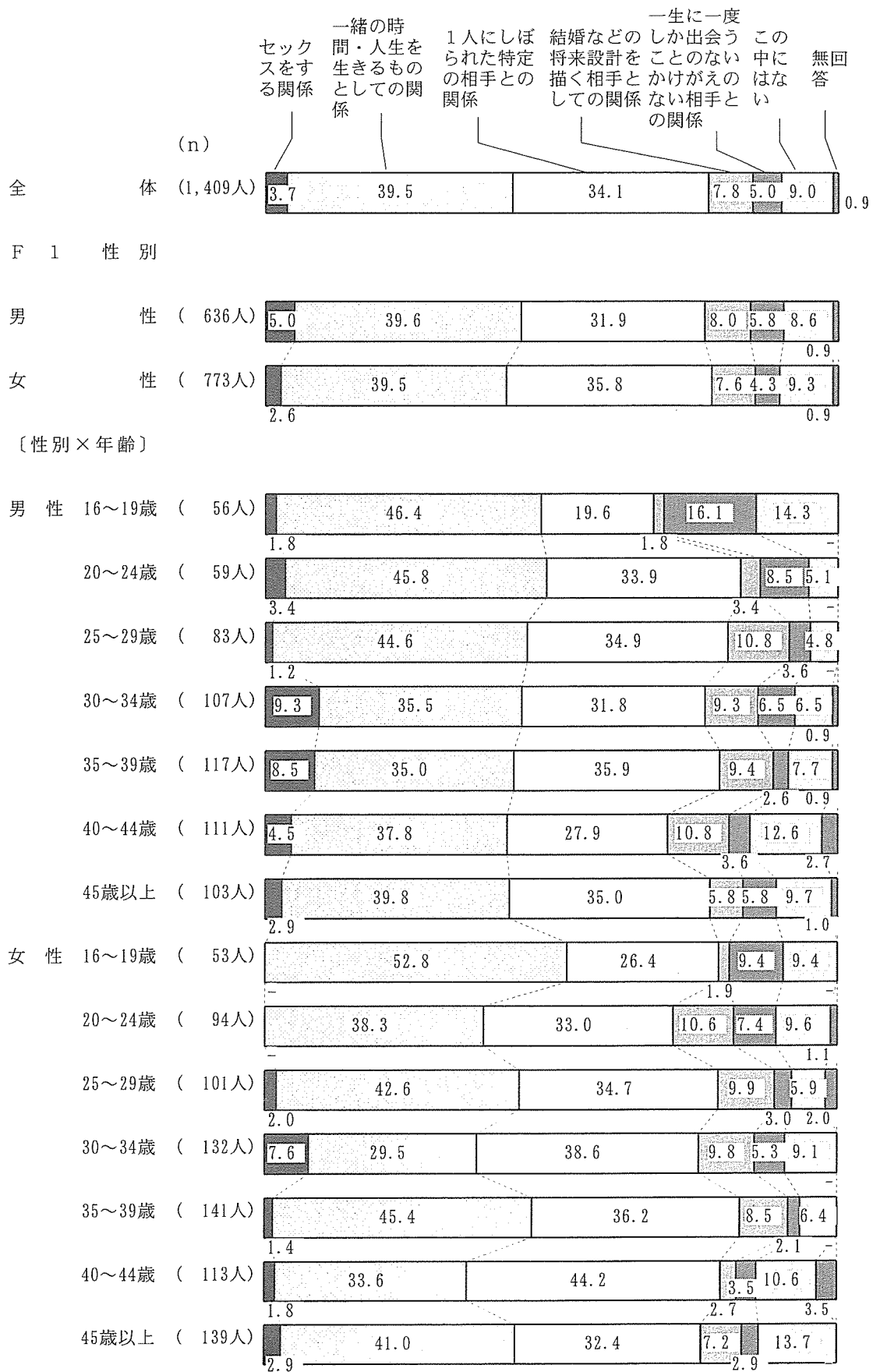


異性と“付き合う”という言葉のとらえ方を聞いたところ、「一緒に時間・人生を生きるものとしての関係」（39.5%）という者が約4割で最も多く、次いで「1人にしぼられた特定の相手との関係」（34.1%）であると考える者が3割半ばである。

性別にみると（図2-1-1）、男女ともあまり大きな差はみられない。

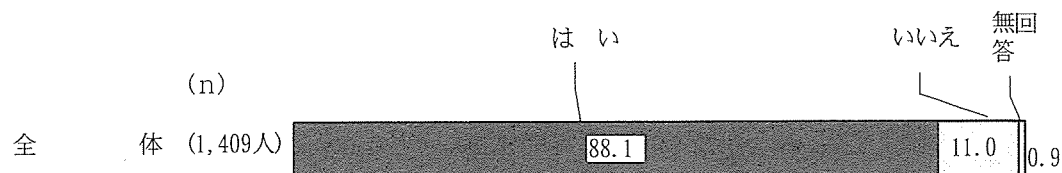
性・年齢別にみると（図2-1-1）、異性と“付き合う”ということは、「一緒に時間・人生を生きるものとしての関係」であると考える者は、該当数は少ないが女性の16～19歳（52.8%）で5割を超え、「1人にしぼられた特定の相手との関係」という者は、女性の40～44歳（44.2%）で4割半ばと多い。また、「一生に一度しか出会うことのないかけがえのない相手との関係」は、該当数は少ないが男性の16～19歳（16.1%）で多くなっている。一方、「セックスをする関係」は男性の30代と女性の30～34歳で統計的にみて他の性・年齢層より多くなっている。

図2-1-1 異性と「付き合う」ということ（性別、性・年齢別）



2 これまでに付き合っていた相手の有無

問8 いままで、あなたは付き合っていた（いる）相手がありますか。現在進行中の関係も含めてください。（○は1つ）

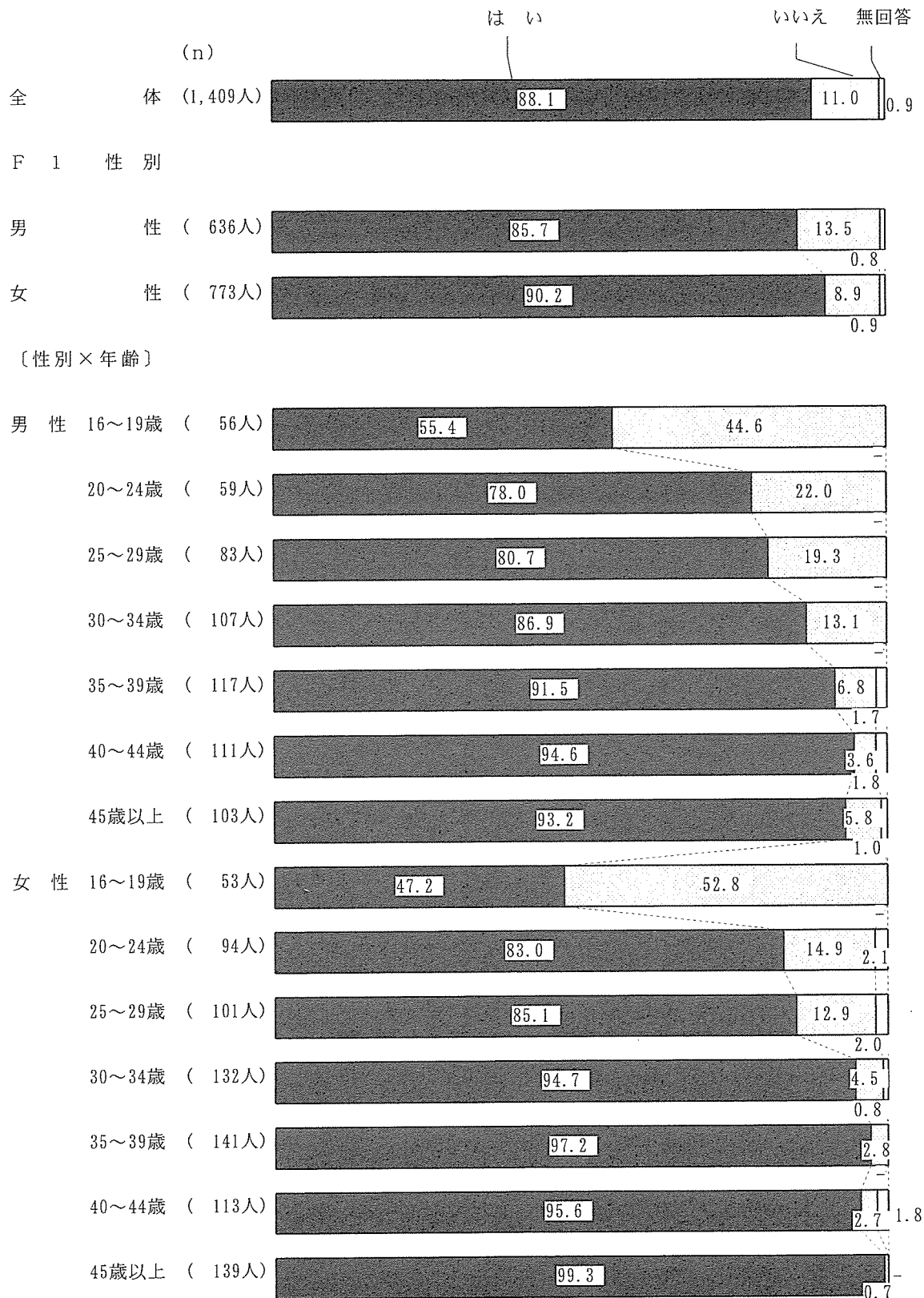


現在進行中の関係も含めて、いままでに付き合っていた（いる）相手がいるかを聞いたところ、「はい」（88.1%）と答えた、付き合った経験のある者は約9割を占め、経験のない者（「いいえ」11.0%）は1割である。

性別にみると（図2-2-1）、「はい」（男性85.7%、女性90.2%）と答えた、付き合った経験のある者は女性では9割を占めており、男性を約5ポイント上回っている。

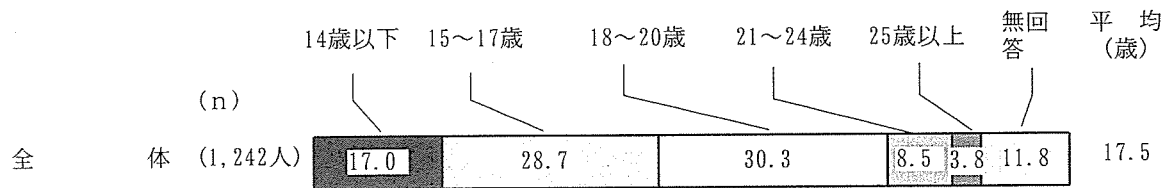
性・年齢別にみると（図2-2-1）、これまでに付き合った経験のある者（「はい」）は、女性の30歳以上と男性の40～44歳では9割半ばで多い。一方、男性の29歳未満と女性の16～19歳では「いいえ」と答えた、付き合った経験のない者が統計的にみて多くなっている。

図2-2-1 これまでに付き合っていた相手の有無（性別、性・年齢別）



【問9と問10は、問8で「1」と答えた人にお聞きします。】

問9 初めてそのような相手を持ったのは、あなたが何歳のときですか。



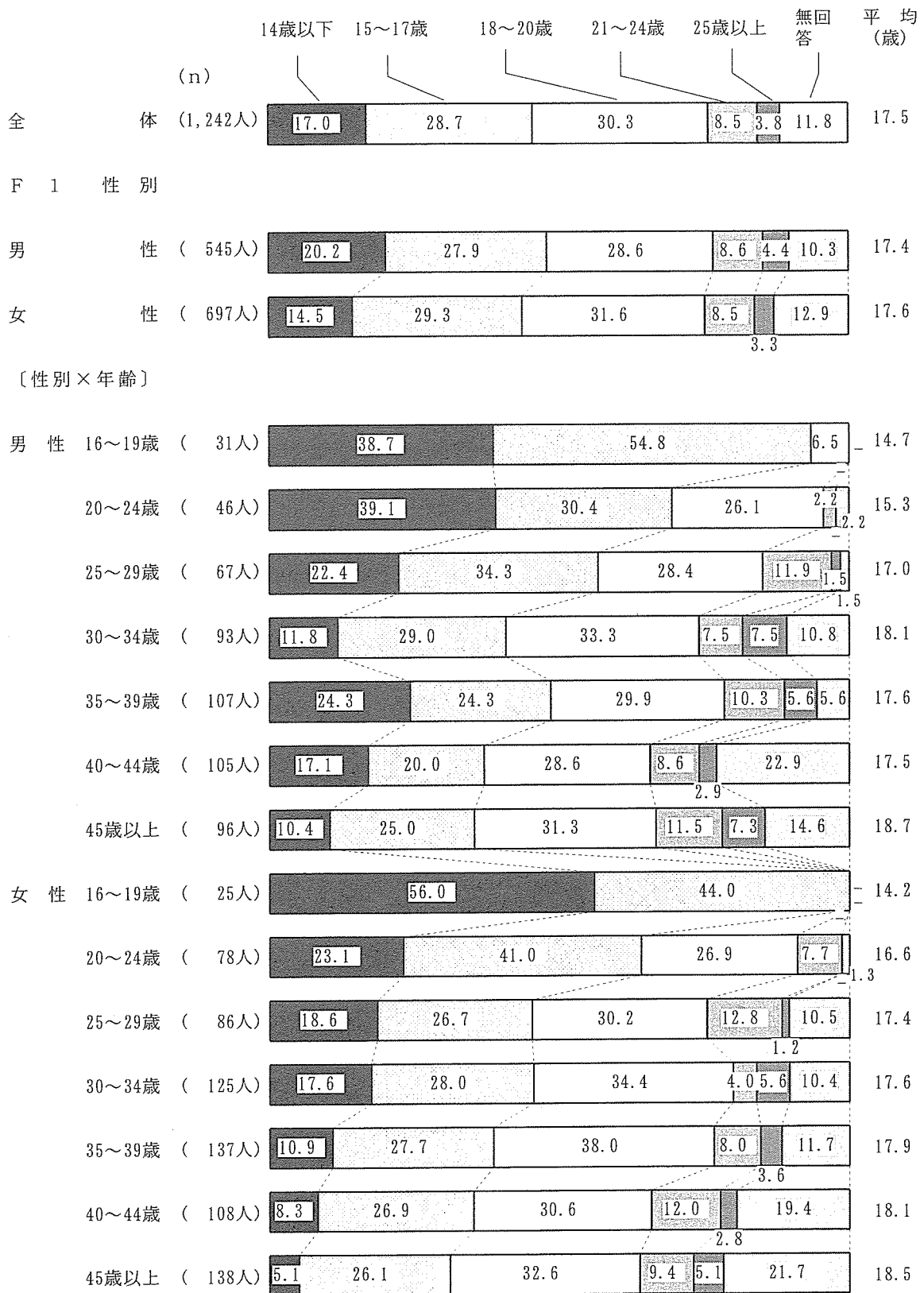
これまでに異性と付き合いがあったことがある者（1,242人）に初めてそのような相手を持った時の年齢を聞いたところ、「18～20歳」（30.3%）という者が3割で最も多く、次いで「15～17歳」（28.7%）が3割弱となっている。

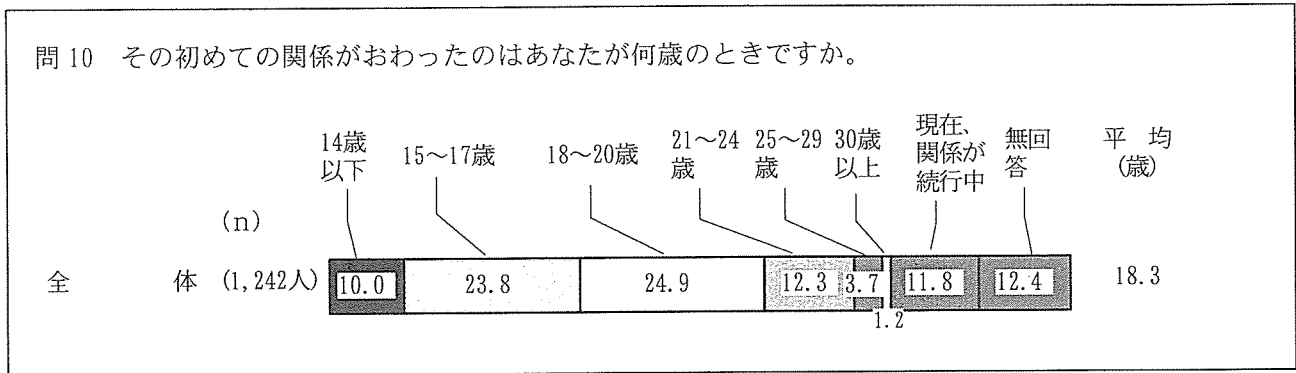
平均すると、17.5歳である。

性別にみると（図2-2-2）、初めて異性と付き合い合ったのが「14歳以下」は女性（14.5%）より男性（20.2%）に多くなっているが、平均するとともに男性17.4歳、女性17.6歳と男女差はない。

性・年齢別にみると（図2-2-2）、初めて異性と付き合い合ったのが「18～20歳」は女性の35～39歳（38.0%）で4割に近い。初めて異性と付き合い合ったのが「14歳以下」と「15～17歳」の者は、男女とも若年齢ほど多い傾向がみられる。

図2-2-2 初めて異性と付き合った年齢（性別、性・年齢別）





これまでに異性と付き合いがあったことがある者（1,242人）に初めての関係が終わった時の年齢を聞いたところ、「18～20歳」（24.9%）と「15～17歳」（23.8%）が2割台半ばでほぼ並んでいる。なお、「現在、関係が続行中」という者は11.8%である。
平均すると、初めての関係が終わった年齢は18.3歳である。

性別にみると（図2-2-3）、初めての関係が終わった時の年齢が「14歳以下」という者は女性（8.3%）より男性（12.1%）でやや多くなっている。
平均すると男性18.1歳、女性18.6歳である。

性・年齢別にみると（図2-2-3）、初めての関係が終わった時の年齢が「14歳以下」と「15～17歳」の者は男女とも若年齢ほど多くなる傾向がみられる。「現在、関係が続行中」は女性の45歳以上（17.4%）で2割弱を占めており、他の性・年齢層より多くなっている。

初めての関係が続いた期間としては「1年未満」が28.8%、「1年」が24.3%で、現在関係が継続中の人を除いた、初めての関係が続いた期間の平均は1.4年となっている（図2-2-4）。

性別にみると（図2-2-4）、初めての関係が続いた期間が3年以内の者は女性より男性が多くなっている。現在関係が継続中の人を除いた平均は男性1.2年、女性1.5年となっている。

性・年齢別にみると（図2-2-4）、初めての関係が続いた期間が「1年未満」は男女とも若年齢ほど多い傾向がみられる。「1年」は女性40～44歳（32.4%）で多い。「2年」は男性の35歳以上で他の性・年齢層より多くなっている。

図2-2-3 初めての関係が終わった年齢（性別、性・年齢別）

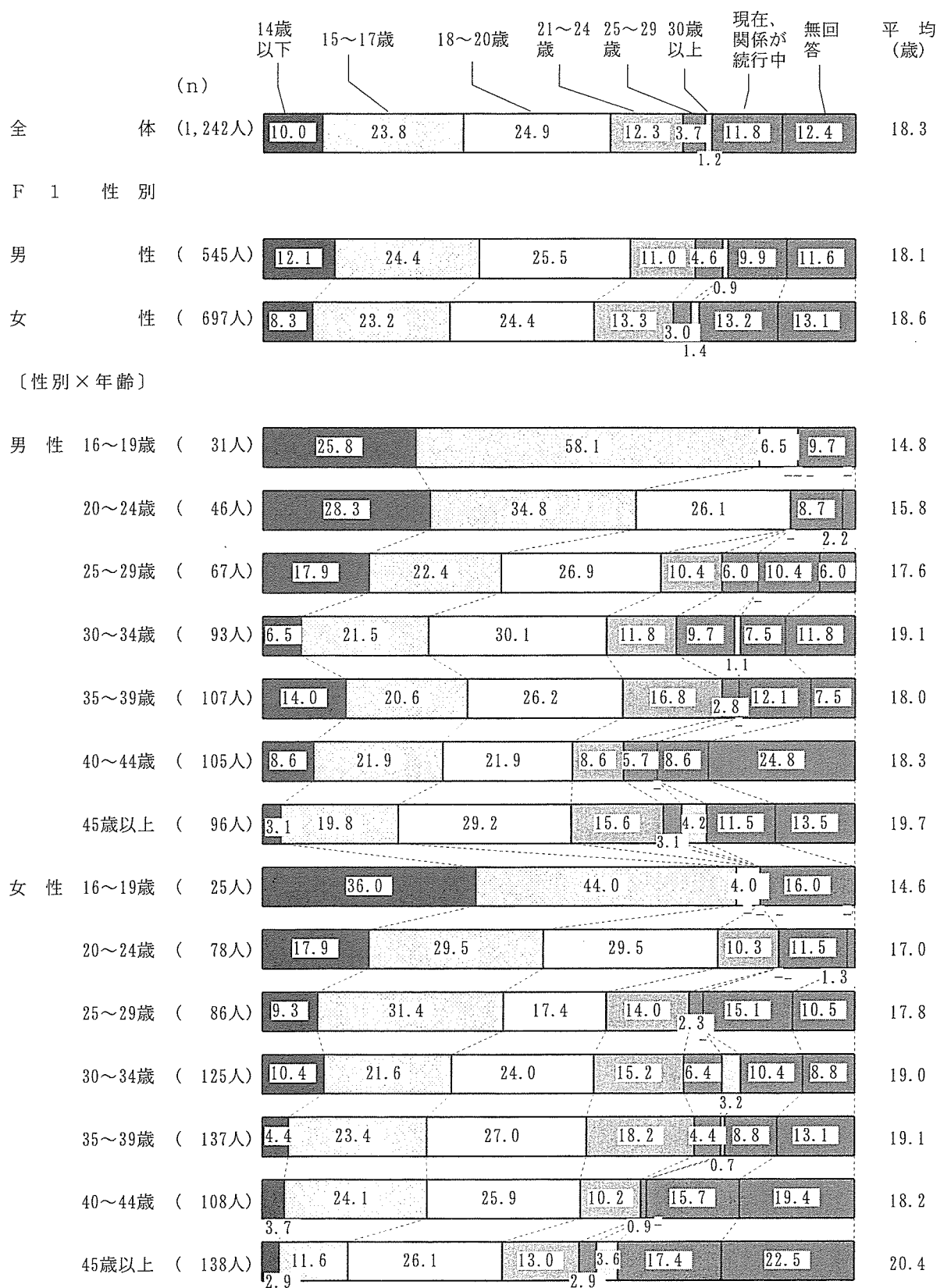
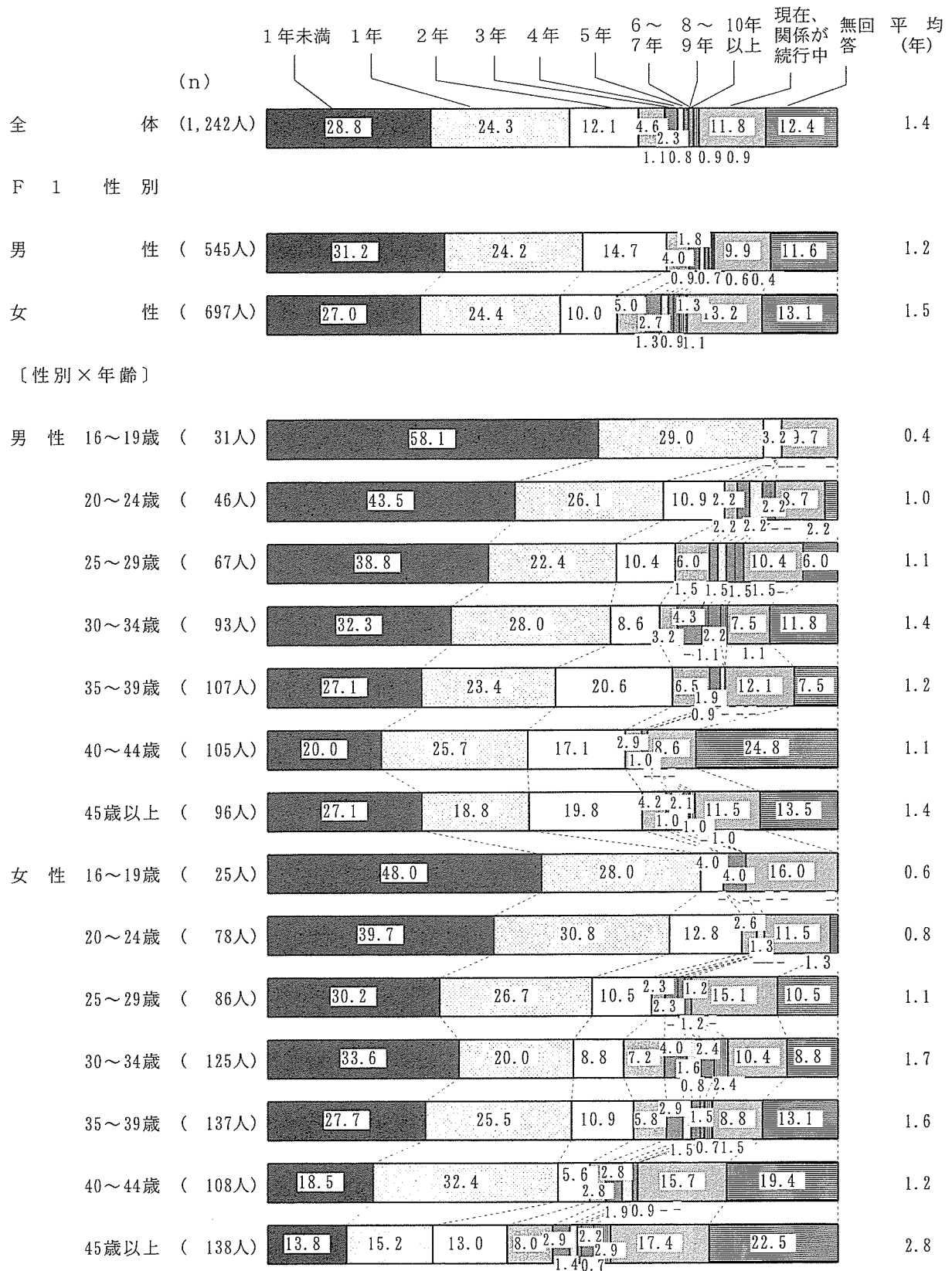
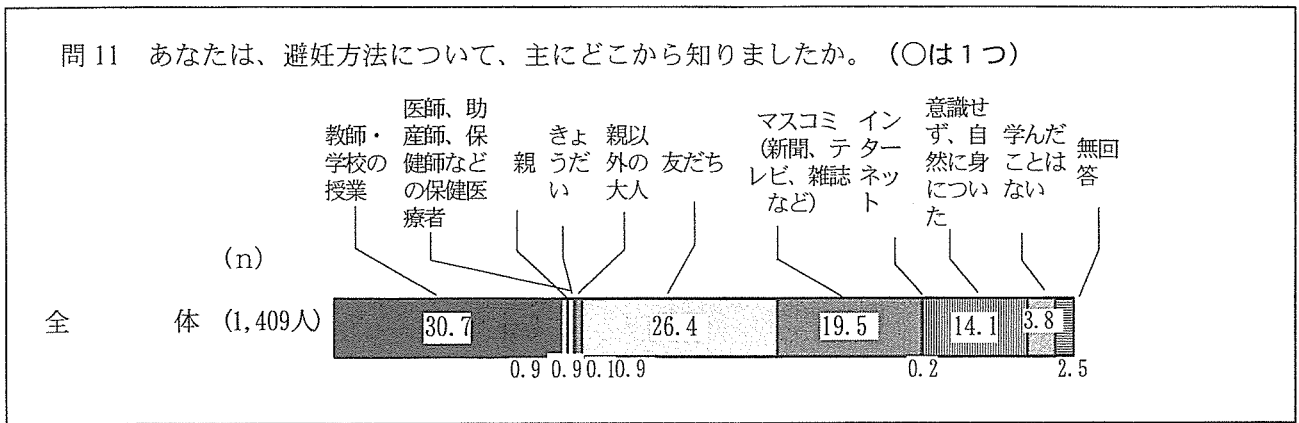


図2-2-4 初めての関係が続いた期間（性別、性・年齢別）



第3章 性の意識や知識について

1 避妊方法の主な情報源



避妊方法についての主な情報源としては、「教師・学校の授業」(30.7%)であるという者が3割で最も多く、次いで「友だち」(26.4%)という者が2割台後半、「マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など)」(19.5%)という者が約2割で続いている。

「意識せず、自然に身についた」という者は14.1%、避妊方法について「学んだことはない」という者は3.8%である。

性別にみると(図3-1-1)、「教師・学校の授業」(男性24.7%、女性35.6%)という者は男性より女性に、「友だち」(同31.3%、22.4%)と「マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など)」(同22.2%、17.3%)という者は女性より男性に、それぞれ多くなっている。

性・年齢別にみると(図3-1-1)、「教師・学校の授業」から避妊法を知ったという者は、男女とも若年齢ほど多くなる傾向がみられる。一方、「マスコミ(新聞、テレビ、雑誌など)」は男女とも年齢が高いほど、多くなる傾向がみられる。また、「友だち」から知ったという者は、男性の35~39歳(43.6%)と45歳以上(37.9%)で4割前後を占めており、他の性・年齢層より多くなっている。